

## 作業療法学科

作業療法（Occupational Therapy）における「作業」とは、家事、仕事、趣味、遊び、対人交流、休養など、人が営む日常生活と、それを行うのに必要な心身の活動が含まれます。作業療法士は、その作業を活かし、病気や怪我の回復をサポートするところとからだの専門家です。作業療法の対象は身体、精神、発達、高齢期の障がい等により日々の活動に困難が生じている、またはそれが予測される人々です。その人々に対して心身機能の回復、維持、あるいは低下を予防します。そのために作業療法士は、生活行為の獲得支援や環境への働きかけを行います。その活躍の場は、医療・保健・福祉・教育・職業訓練等といった多岐にわたります。

**【教育目的】** 作業療法士（Occupational Therapist）として必要な知識と技術を教授し、社会の多様なニーズに対応できる人材育成を行います。また、作業療法は日常生活活動（家事、仕事、趣味など）に焦点を当てるため、知識・技術の修得だけでなく、人間性や社会性を兼ね備えた質の高い医療専門職の育成を行い、一人の人間としての成長も目指します。

**【学ぶ内容】** 教育課程は「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3区分で構成されています。

基礎分野では、幅広いものの見方や捉え方について学び、科学的思考の基礎を修得し、リハビリテーションに必要な人間性及び社会生活における基本的考え方について学びます。

専門基礎分野では人体の構造と機能や心身の発達、疾病と障害の成り立ち及び回復過程、保健医療福祉とリハビリテーションの理念について学びます。

専門分野では、基礎作業療法学、作業療法評価学、作業治療学、地域作業療法学、作業療法管理学、臨床実習といった科目を学び専門性の知識の土台固めを行います。また、将来作業療法士として活躍するための管理・運営、マネジメント方法も学びます。身体、精神、発達、高齢者の障がい等により日々の作業に困難が生じている、またはそれが予測される人や集団を対象にした評価及び治療法を学びます。そして臨床実習（2・3学年次の病院または施設での実習）では、学校で修得した知識及び技術を実際の治療・援助に繋げ、思考力、判断力、表現力等を磨いていきます。

**【学び方】** 作業療法を治療として用いるためには、対象者の病気や障がいだけでなく、生活状況や価値観、作業遂行能力なども考慮しなければなりません。また、対象者がスムーズに生活に適応していけるように能力を引き出し、積極的にリハビリテーションに取り組むことが必要となります。そのため、講義形式の授業にだけでなく、グループディスカッションや演習、実習を通して、実際の作業活動を経験しながら学習を進めていきます。

**【教育指針】** 専任教員は自らの社会性や人間性を高め、学生が様々な対象者に主体的に対応できる力が身につくよう、学生一人ひとりにきめ細かな、継続的指導を行うよう心掛けています。また対象者の気持ちやニーズを理解し相手の立場に立った援助が出来るよう、学内外での他者とのコミュニケーションを重視し、協力し合う教育環境の整備に配慮しています。

### 【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士授与に関する方針）】

松江総合医療専門学校作業療法学科は、教育理念にある「地域の保健・医療・福祉施設などにおいて、人々の健康の担い手として活躍できる質の高い医療従事者の育成」を基本に、作業療法学科の教育目標を達成し、所定の単位を修め、かつ、下記のディプロマ・ポリシーにある要件を満たした者に卒業を認定し、専門士の学位を授与する。

1. 基本的な社会性を持ち、相手の気持ちに寄り添うことのできる人間性を有する人材
2. 豊かなコミュニケーション能力を有し、柔軟に他者とコミュニケーションが取れる人材
3. 探求心を持ち主体的かつ継続的に学習する能力を持つ人材
4. 作業療法の専門的な基礎知識や技術を理解、修得している人材
5. 修得した知識や技術により地域社会の発展に寄与できる人材

### 【カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)】

松江総合医療専門学校作業療法学科は、ディプロマ・ポリシーに基づいて、社会適応力や実践力の修得、作業学や作業療法学の修得、課題解決能力の修得に向けた教育課程を編成する。

1. 幅広い知識と教養を修得する教育
2. 臨床実践力を重視する教育
3. コミュニケーション能力などの社会人基礎力を養う教育
4. 基礎的な理論や技術・技法・感性等を涵養する専門教育
5. チーム医療に対応する連携力や科学的思考能力等を修得する専門教育

### 【アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)】

松江総合医療専門学校は、人々の健康の担い手として活躍できる質の高い医療従事者を育成することを基本理念としている。この理念を理解し、基礎的な学力や判断力、表現力を有した上で次のような資質を持っている者を受け入れる。

1. 人を大切に思う気持ちを持っている人
2. 社会における自分の存在を大切にできる人
3. 心身の健康を意識し、自己管理できる人
4. 目的・目標を持ち、それに向かって努力できる人
5. 地域、社会に興味・関心を持っている人
6. 他者と積極的にコミュニケーションを取ろうとできる人

## 松江総合医療専門学校

### アセスメント・ポリシー

松江総合医療専門学校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、3つのレベル(学校レベル・学科レベル・科目レベル)で学修成果を点検・評価する方法を定め、入学時、在学時、卒業時の各段階において点検・評価を総合的に実施し教育環境の改善に取り組む。

入学時には、入学試験、調査書等の記載内容、入学前課題、入学後の個人面談の情報を用いて、アドミッション・ポリシーで求める基礎的学力や判断力、表現力が身についているか評価する。

在学時には、単位修得状況、成績評価、授業評価アンケート、授業や臨床実習等における学習や発表と合わせ、臨床実習等での主体的、能動的な学修を通じて、対象者様のことを第一に考えられる社会適応力や実践力、課題解決能力を身につけているか評価する。合わせて、各学科が求める専門知識・能力が身に付いているか、総合的に評価を行う。

卒業時には、単位修得状況、成績評価、卒業試験等を用いて、ディプロマ・ポリシーで求める必要な能力が身についているか総合的に評価を行う。

卒業後、就職状況等を用いて「豊かなコミュニケーション能力と課題解決能力を持った自立した医療人」としての能力が身についているか評価を行う。